

第1章 調査の概要

1 調査目的

佐野市民の人権問題に関する意識を把握することにより、今後における人権行政を効果的に推進するための基礎資料を得ることを目的に実施しました。

2 調査設計

- (1) 調査対象 佐野市に居住する満20歳以上の男女
- (2) 標本数 2,000人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳（平成30年10月1日現在）からの等間隔無作為抽出法
- (4) 調査方法 郵送配布、郵送回収
調査期間中に、はがきによる礼状・督促状を1回送付
- (5) 調査期間 平成30年10月24日～11月9日（基準日平成30年11月1日）

3 回収結果

<標本数>	<回収率>
2,000人	43.5% (870人)

4 報告書の見方

- (1) グラフの数値は、ご協力くださった人、または分類別の回答者数（nと表示）を100%として計算した比率です。
- (2) 計算の都合上、四捨五入しているため、比率の合計は100%ちょうどにならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問は、回答の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 2つの選択肢を合算した割合（%）は、四捨五入の関係で単純に割合を合わせた数値にはならない場合があります。
- (5) 『栃木県調査との比較』では、平成22年に栃木県が県内20歳以上の2,000人を対象にして実施した「栃木県人権に関する県民意識調査」（調査員による個別面接法）の結果と比較しています。
- (6) 『時系列比較』では、平成24年調査（回収率47.6%）は住民2,500人を対象とした調査結果との比較をしています。従って、今回調査とは対象人数が異なります。
- (7) 今回の調査は、「人権に関する意識調査」と「男女に関する意識調査」を合同で行っており、この報告書には調査全体の中から「人権に関する調査」を掲載しています。
- (8) 各問のその他欄については、抜粋して掲載しています。